



NEWS

2015 No.296

11

全国整備工場の皆様へNGP 組合員 200 拠点がお届けするお役立ち情報

月号

第11回通常総会開催 佐藤幸雄新理事長体制発足 今期テーマは「創造開来」

次世代NGPへの新創造構想実現に向けて
社会貢献性を高める行動革新に挑戦します

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合は10月26日、兵庫県神戸市のANAクラウンプラザホテル神戸で第11回通常総会を開催しました。その席で長谷川理事長の任期満了(2期4年)に伴う役員改選が行われ、佐藤幸雄・(株)共伸商会代表取締役が第4代理事長に就任いたしました。

冒頭の挨拶で長谷川利彦理事長は、「皆様のおかげで4年間無事に理事長職を務めさせていただくことができました。本当にありがとうございました。特に今期の最終年、集大成として年間部品総売上高500億円の目標を達成できたこと、これは10年来の目標でした。部品の単価が下がる中、皆さんが協力し品質の良い商品を生産してきたからこそ何とか漕ぎ着けられたことです。心より感謝申し上げます。またこの1年間、小林信夫副理事長が中心になった500億円プロジェクトにより、組織全体が一致団結するマネジメントがしっかりと根付いたことは、何にも代えがたいNGPの将来の財産になるものと信じております」と述べ、2期4年間の任期を振り返りました。

通常総会では平成26年度事業報告、平成27年度事業計画、そして役員改選が審議され、いずれも満場一致で可決されました。その結果、佐藤幸雄・(株)共伸商会(新潟県新潟市)代表取締役が第4代理事長に選出されました。副理事長には小林信夫・(有)しのぶや(栃木県那須市)代表取締役、山田彰・(有)山一商店(富山県小矢部市)代表取締役、中村昌徳・クレストパーツ(岡山県倉敷市)代表取締役が、専務理事には玉木基裕が採択され、長谷川前理事長は理事・会長に、大橋岳彦前会長は相談役となっています。

理事長選出後の挨拶で佐藤新理事長は、長谷川前理事長への謝辞を申し上げるとともに、「歴代理事長の功績に負けないよう、新役員との強い結束力をもって組織を牽引します」と所信表明しました。

平成27年度事業計画の発表では、自動車整備・修理業界の動向、リサイクル業界の変化など、NGPグループを取り巻く周辺状況の変化に対しての危機意識と将来を見据える、NGPグループ戦略立案の重要性を示しました。具体的には、部品取り車両の減少に伴う仕入競争の激化、大幅なスクラップ価格の下落によるリサイクル事業の厳しい状況を受け、これらに立ち向かうNGPグループ本部と組合員各社の連動性を重視する組織マネジメントや、将来のNGPグループを担う人材育成を不可欠とし、組織改革・意識改革の風土を醸成することを示しています。

さらに、台風18号の影響により茨城県常総市、栃木県小山市などの堤防が決壊した関東・東北豪雨の被害規模の大きさに触れ、改めて地球温暖化防止に貢献するNGPグループとして適法・適正な解体作業を推進し、リサイクル部品の利用促進によりCO₂排出量削減へ貢献する意志も示しています。

これらの観点により、佐藤新理事長体制においては「次世代NGPへの新創造構想の実現」を中期的組織方針とし、「新しい時代に向けてNGP新創造改革を行い、最優で強いNGPグループ本部及び、最優で地域No.1の選ばれる組合員会社となる」ことを中期経営計画に挙げ、平成27年度のスローガンを「創造開来」としました。

新たな執行部として、(株)福島リパーツ(福島県郡山市)の渡辺辰美代表取締役、(株)アートパーツ長野(長野県松本市)の鈴木修



一代表取締役、(株)多田自動車商会(兵庫県三木市)の平田武士代表取締役、(株)福山セコ(広島県福山市)の藤原庸正代表取締役が新理事に、(株)NGPの鈴木成幸・経営企画室長が新事務局長に就任しました。さらに新たな組織として、研修委員会と海外戦略プロジェクトが発足するとともに、青年部が組織指導委員会から独立しています。

昨年度は500億プロジェクトの推進により、リサイクル部品生産点数は対前年度比104.5%の207万9,795点、リサイクル部品生産金額は同111.0%の162億3,154万2,000円と大きく伸長し、リサイクル部品販売点数は同98.9%の239万5,625点へと若干減少したものの、リサイクル部品販売金額は同107.7%の502億3,275万9,000円と、念願の500億円を達成しました。

NGP協同組合では、引き続きリサイクル部品業界のリーダーであり続けるため、組織改革を断行し最優で強い本部・組合員会社の構築を目指すことで、自動車整備・修理工場の皆様へよりよい商品をより正確により早くご提供して参ります。今後ともご支援ご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



NGP協同組合第11回通常総会後の第29回定期総会懇親会でNGPグループ旗を長谷川利彦前理事長(右)から受け取る佐藤幸雄新理事長(左)

NGP 協同組合執行部記者会見 佐藤新理事長が中期経営計画の具体策を示す

第11回通常総会終了後、佐藤幸雄新理事長をはじめ長谷川利彦会長、山田彰副理事長、中村昌徳副理事長、小林信夫副理事長、玉木基裕専務理事からなる正副理事長会メンバーが、恒例の記者会見に臨みました。

会見の冒頭、佐藤新理事長体制の発足が報道陣に報告された後、佐藤新理事長は「長谷川前理事長体制を引き継ぎながら、新しいものに取り組んでいきます」と挨拶し、今期第12期における4つの事業方針を具体的に示しました。

1つ目は、今まで着手していなかった海外戦略プロジェクトです。多田幸四郎顧問をリーダーとするチームを発足させ、高品質なNGPリサイクル部品の販売拡大を図ります。

2つ目は、市況が悪化している中、各支部が核となって支部内流通を活発化させるとともに、現在リサイクル部品を使用している整備・修理工場に対し新しい販売スタイルを取れるか、地域で模索していただきます。そのことを視野に入れ、各副理事長にはそれぞれ3つの支部を担当していただく

よう体制を変更しました。

3つ目は人材育成です。次世代経営陣の育成に加え、自動車技術の進化が激しい中でそれに後れを取らないよう、研修委員会を新たに立ち上げました。

最後の4つ目は、鉄・スクラップなど素材の回収スキーム構築です。精密な解体・回収を行いつつ販売ルートを構築し、資源が少ない日本において本当の意味での循環型社会実現を目指します。

質疑応答では、まず海外戦略プロジェクトのターゲット市場について質問があり、佐藤新理事長が「東南アジアやロシア、南米などを中心に、企業提携を図りながら今年度中に販路構築を実現したいと考えています」と回答しました。

また、500億円達成の要因については、500億プロジェクトを指揮した小林副理事長が「リサイクル部品のビジネスはまず生産ありきの側面がありますので、生産を強化した結果一時的に在庫過多となりましたが、毎月毎日詳細な実績を各組合員に配信し、社員レベルにまで伝達し意識付けたことが、部品

販売金額の約8%増、500億円突破につながったのではないのでしょうか」と述べました。さらに長谷川会長は「これまでNGP組合員のフロントマンは押しが弱く待ちの商売になっていましたが、500億プロジェクト以降は積極的に営業展開するようになりました」と、その効果に言及しています。

9月15日より水害対策本部を設置し復興支援に当たった関東・東北豪雨については、10月17日に茨城県常総市内のヤードを撤去し、栃木県小山市内のヤードも近日撤去予定であること、被災車両の総引き上げ台数は約1,200台に達し、NGP協同組合北関東支部組合員により順次処理が進められていることが、水害対策本部長である小林副理事長より報告されています。



記者会見に臨む正副理事長会メンバー

第12回 NGP 青年部会開催 勉強の1年と位置付け 独立組織としての活動を開始

NGP青年部会の第12回会合が10月25日、メンバーである新井性奉氏が常務として所属する(株)ラ・テール(京都府京都市)で開催されました。今回は青年部会メンバー15人が参加し、工場の拡張を続けるとともに工場内の整理整頓と作業効率の改善を強力に推進している同社工場を見学しました。

会議の冒頭では、7月29日に急逝した

(有)ツクダ自動車の佃正人社長に黙祷を捧げ、生前に組織指導委員会委員長として青年部会を支えて下さったことに感謝しながらご冥福をお祈りしました。

その後、第12期に見込まれている青年部会の位置付けと活動内容、各メンバーが所属する委員会などについて、太田道人部会長より示されました。具体的には、組織指導委員

会から独立して活動を行い執行部を設立し規約を設けること、異業種を含めた他団体青年部会と交流を図ること、第12期を勉強の1年と位置付けメンバー工場見学やマネジメント研修受講を積極的に行うこと、青年部会の全員がいずれかの委員会に協力メンバーとして所属し委員会活動を補助することなどが挙げられています。



建設中の廃油抜き取り作業場を見学する青年部会メンバー

NGP 協同組合、「エコプロダクツ2015」に出展 リサイクル部品活用とともに 廃車王を積極的に啓発します

NGP協同組合は年12月10～12日の3日間、東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催される、「環境」をテーマにした展示会「エコプロダクツ2015」に出展します。今回のNGPブースは東2ホール入口のすぐ近く、小間番号は2-040です。

今回は廃車買い取りサイト「廃車王」(<http://www.haishaou.com/>)のほか、NGPリサイクル部品を積極的に取り扱う整備・修理工場をカーオーナーに紹介する「NGPエコひろば」(<http://www.eco-hiroba.net/>)を通じたリサイクル部品の活

12/10(木)・11(金)・12(土)
10:00～18:00
(最終日17:00まで)
入場無料



NGP ブース外観イメージ

用推進を中心に、一般カーオーナーや子供たちへ積極的にアピールします。ぜひご来場いただき、NGPブースへお立ち寄り下さい。

佐藤新理事長を支える NGP日本自動車リサイクル事業協同組合 新執行体制

	氏名/生年月日	会社名/役職	抱負
理事・会長	 長谷川 利彦 S32.6生	(株)ハセ川自動車 (富山県滑川市) 代表取締役	今期より会長職として、佐藤新理事長体制のサポートをさせていただきます。対外業務を中心に活動して参ります。よろしくお願い申し上げます。
副理事長	 山田 彰 S34.9生	(有)山一商店 (富山県小矢部市) 代表取締役	この度、佐藤新理事長の下、3期目の副理事長を務めさせていただきます。微力ではございますが、NGPの理念をもって厳しい時代を乗り切っていけますよう努力いたします。
	 中村 昌徳 S37.10生	クレストパーツ (岡山県倉敷市) 代表取締役	佐藤新理事長体制のもと、私はNGP理念の推進、組織強化に努め、リサイクル業界の発展に尽力いたします。副理事長としてはまだまだ未熟ですが、全力で努めて参ります。よろしくお願い申し上げます。
専務理事	 小林 信夫 S39.7生	(有)しのぶや (栃木県那須郡) 代表取締役会長	総じてNGPと言わせていただきます。私もNGPに『感謝』しています。理事に名を連ねているだけにならぬよう、『恩返し』を心掛けて仕事します。
	 玉木 基裕 S26.2生	協同組合本部 (東京都港区) 専務理事	座右の銘は、『無心是道』です。人間らしさを大切に、できる限り仕事を完璧にこなす情熱を持つこと、難しい問題に立ち向かう時は、邪心を捨てた創造力を持って努力します。
理事	 福田 健志 S37.10生	(株)アシスト・フクダ (北海道函館市) 代表取締役	今期、研修委員会を命ぜられました福田です。自動車業界では昨今、若者の車離れが深刻で、我々の業界でも雇用や育成で大変ご苦労されていると思われませんが、様々な研修を通じ皆様のお役に立てればと考えております。
	 渡辺 辰美 S48.9生	(株)福島リパーツ (福島県郡山市) 代表取締役	今期より東北支部の理事を務めます渡辺です。佐藤新理事長体制のもとNGP発展に貢献できるよう頑張ります。また、支部内のコミュニケーションを大切に、メンバー丸となって厳しい環境に立ち向かえるよう努力します。
	 塩谷 剛史 S52.1生	(株)拓殖商会 (群馬県伊勢崎市) 常務取締役	今期は支部内でのコミュニケーションにより重点を置き、競争心を植え付けることで、個社の底上げと支部全体のレベルアップ並びに結束力の強化を図る所存です。また、全力で佐藤新理事長をサポートしていきます。
	 青木 金也 S33.4生	(株)マルチン青木 (静岡県藤枝市) 取締役営業部長	佐藤新理事長の活動テーマの中に「最優で強いNGPグループ」とあります。その中で私が担当する組織指導委員会の役割は大きいと認識しております。今期テーマを成し遂げるため、組合員の皆様のお力添えを得ながら努力して参ります。
	 戸田 暢生 S42.10生	(有)メタルオート北陸 (石川県小松市) 代表取締役	今期も引き続き理事を仰せつかることとなりました。日々刻々と変化する情勢の中、新理事長のもと微力ではございますが、組合員のご助言・ご協力を仰ぎながら、NGP協同組合並びに北陸支部の発展に寄与して参ります。
	 鈴木 修一 S32.2生	(株)アートパーツ長野 (長野県松本市) 代表取締役	東海支部の理事をさせていただきます、新任の鈴木です。佐藤新理事長が掲げる「新しいものを取り入れ『創造構築』を推進！」の現実化に邁進いたします。「明るく！楽しく！元気良く！」を合言葉に、一体化し到達点を目指します。
	 平田 武士 S39.6生	(株)多田自動車商会 (兵庫県三木市) 取締役社長	関西支部理事の大役を仰せつかりまして、気の引き締まる思いです。関西各社が品揃え、品質、サービス、信頼において、地域最優でNo.1であることを目指し、支部活性化に取り組み頑張ります。
	 藤原 庸正 S44.3生	(株)福山セコ (広島県福山市) 代表取締役	今期より中四国支部の支部理事を拝命しました藤原です。同支部は部内のレクリエーションを大切に、若手と年配代表者とのコミュニケーションをバランス良く保ち、非常に統一感ある支部です。これからさらに支部内を活発にしていきます。
	 中島 邦晃 S48.2生	(株)オートリサイクルナカシマ (大分県日田市) 代表取締役	九州支部の理事になりまして2期目になります。今期は支部内流通を強化します。そのために支部内で様々な可能性を追求し検証しながら、地産地消でリサイクルしていきます。

NGP 今月のCO₂削減量



リサイクル部品利用に伴う削減効果

平成27年9月：**4,017t**

※一般社団法人 日本自動車工業会が1998年に公開している自動車LCA(ライフサイクルアセスメント)データをベースに、NGPにて1500cc車両の部品重量調査結果からCO₂削減効果参考値を算出しております。



リターナブル梱包材利用に伴う削減効果

平成27年9月：**12.0t**

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO₂排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

AD損調、「パートナーズセミナー」を開催 多様化するニーズに対応できるように 様々な修理方法の選択肢を提案

あいおいニッセイ同和損害調査(株)(AD損調)・近畿北陸技術調査部は10月6日、あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー(大阪府大阪市)で、近畿地区(大阪府・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県・三重県)の自動車修理事業者を対象とした「パートナーズセミナー」を開催しました。

冒頭、挨拶に立った山名学常務は「人口減少によって自動車保有台数が減少傾向にあるだけでなく、自動車保険等級制度改定に伴う自費修理の増加や、軽自動車比率の拡大による整備単価の低下も相まって、総整備売上高は減少しています。また、異業種からの参

入も多岐に渡り、獲得競争が激化していますが、業界を取り巻く環境は大きく変化していますが、このような難局を乗り越えていただくためにも、技術力や品質の向上を共有していきたいと考えております」と、情報共有の必要性を伝えました。

3つのセミナープログラムのテーマは「市場動向に対応する修理技法と経営戦略」、「自動車を取り巻く環境と新技術について」、「自動車研究所のご案内、水素社会とFCVについて」でした。「市場動向に対応する修理技法と経営戦略」について講演した石川明男部長は、カーオーナーの様々な要望に答えるだ



取り付け部を修理したタブリペーパーの実物を展示し、強度も問題ないことをアピール

けではなく、売上が下がっても利益が増える修理方法として、パーツの取り付け部を修理したタブリペーパーや、リサイクル部品を使った修理方法などを提案しています。

また会場内には協賛企業の展示ブースが併設され、NGP協同組合はNGPエコひろばなどの活動や、かんたん钣金見積りシステム「ぱっと!くん」、リターンブル梱包材などを紹介するとともに、破損した取り付け部を修理したヘッドランプユニットを参考展示し、リサイクル部品として必要かどうかなどの意見を来場者から集めていました。



NGP組合員かわら版



組合員全社を対象とした「スキャンツールセミナー」を各地で開催 リサイクル部品生産の実務に即した故障診断を学習・体験

NGP協同組合は10月より全国9支部で順次、NGPリサイクル部品の生産に携わる組合員全社・全拠点の生産スタッフを対象とした、スキャンツールセミナーの開催を始めました。これは、同組合が年間リサイクル部品売上高500億円を達成した記念として、(株)バンザイのスキャンツール・MST2000を全組合員に無償で贈呈するとともに、セミナーの受講も無料とすることを決定したことによるものです。

11月4日に(株)あいおいニッセイ同和自動車研究所埼玉センター(埼玉県さいたま市)で開催された北関東支部組合員向けセミナーでは、同社講師がリサイクル部品生産実務の観点から、まずスキャンツールの基本的な機能・使い方や、故障診断で見られる内容などを座学でレクチャーしました。

その後、事前に講師が意図的に不具合を発生させたトヨタ・プリウス(ZVW30)4台を用い、それを受講生がMST2000を用い

て全自己診断、フリーズフレームデータと故障コードの消去、パワートレイン及びボディ・電装系のアクティブテストを行い、不具合発生箇所を発見して原因を究明・解決する方法、そして部品生産可否を見極める方法を体感、学習しています。

セミナー修了後の感想で、(株)共伸商会の小黒和浩さんは、「スキャンツールは以前から会社にありましたが、詳しい使い方も知らず、教えてくれる人もいなかったのので、説明書を見て何となく使っていました。電装系しか診断できないと思っていましたが、今回の研修を受けて、様々なデータを取って比較すれば非常に多くのことが分かることに驚き



ました」と、スキャンツールが持つ用途の幅広さに大きな気付きを得ていました。

(株)拓殖商会の小倉彰人さんは、「実習では故障コードから不具合箇所を特定し、生産可否をすぐに判断できることが分かりました。スキャンツールを使って生産すれば、作業効率と商品品質を高められ、かつクレームが発生しても自信を持って対応できるようになるため、ここで教わった内容を今後社内でも活用していきます」と、スキャンツールを用いたリサイクル部品生産がもたらす効果の高さを実感しています。

組合員情報変更

支部	会社名	変更内容	変更後	変更日
中四国	株式会社桃太郎部品	会社代表	代表取締役 岸本恭秀	27年10月30日
北関東	ユーパーツ熊谷店	社名変更	ユーパーツ埼玉支店	27年11月2日

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
http://www.ngp.gr.jp/

株式会社NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201
http://www.ngp.co.jp/